

09000-1,2,3,4	教育の最新事情
テーマA	教職についての省察
<p>1980年代頃より、いじめ・不登校・学力低下・規範意識の低下など、青少年をめぐる諸問題が増加し、学校への不信感が高まっている。こうした状況において、現在、次世代を育成する重要な教育機関としての学校への信頼を回復することが焦眉の課題である。講義では、近年の学校をめぐる状況変化、及び教育基本法改正や中教審答申などの学校改革の動向を概観し、具体的な資料やデータを踏まえながら、教師力を高め、信頼される学校を創造するための方途について理解する。</p> <p>上記の資料やデータ、さらには広く社会が教員に対して何を期待しているかを示す各種資料に基づき、教員個々が教職生活を振り返り、これまでの子ども観、教育観について省察する。こうした省察活動を通して、子どもに対する教育的愛情や社会に対する倫理観、遵法精神等、専門職たる教員の具えるべき要件について意識を高める。</p>	
テーマB	子どもの変容と子ども理解
<p>教師は子どもの生涯発達の一時期を共有し、発達的な変化に立ち会い、支援する立場と言える。子どもが知的・情緒的に発達し「生きる力」が引き出されるために重要な要因や課題を、心理学を中心とした発達科学的アプローチによって理解する。その際、人間が生まれ持つ学ぶ力や愛着形成、環境や他者との関係性の中で現れる豊かな情緒・自己信頼、相互作用が思考力や学習意欲を高める仕組み等のトピックスが提供される。子ども理解の一環として、特別支援教育における障害の理解と個別支援、環境移行についても理解を深める。</p> <p>いじめ・不登校などに関する諸問題が多様化・深刻化する現在、教育相談に関する実践力は教師に求められる急務の課題である。この教育相談に関しては校務分掌として求められる領域としての諸活動(教育相談室の運営・教育相談習慣の計画・実施etc.)のみならず、それらの活動を不登校やいじめ問題への対応など具体的な事例において生かす力量が求められている。さらに日々の学習指導・学級経営における子ども達への対応など、すべての活動において教育相談分野の資質として求められるカウンセリング・マインドについて触れ、理解を深めていく。</p>	
テーマC	教育政策の動向
<p>これまでの学習指導要領変遷の歴史を概観し、各学習指導要領の特徴を踏まえた上で2008年3月に改訂が告示された新学習指導要領の解説を行う。解説に際しては、この間の学力低下論争の経緯やPISA等の国際学力調査の結果等を参照しながら、学習指導要領改訂の背景をおさえる。そして、旧学習指導要領から引き継がれている考え方と新学習指導要領において新しく提起された考え方を概説すると共に、「生きる力」や「確かな学力」を育むという学習指導要領の理念を実現するための具体的な手立てについて解説する。</p> <p>近年指摘される重要な教育課題の改善のために、どのような法改正や教育政策が展開されているのか、実践レベルにおいてどのようなアプローチが展開されているのかを具体的な事例に基づき理解する。</p>	
テーマD	学校内外での連携協力
<p>子どもの安全を確保するためには、学校が組織として機能するとともに、危機管理の思考と技法を成員が共有しなければならない。講義では日常の安全管理、危機管理、情報管理といった管理における現代的課題についての認識を確認し、実践事例における対応を分析・検討する。</p> <p>学校が組織であること、組織として同僚性を高めることの意義を理解し、そのために必要なコミュニケーション力を向上させる方策を学ぶ。また、近年さまざまな課題が表面化している保護者や地域住民との関係性を再構築するために、子ども理解、さらには学校理解を促進することのできるコミュニケーションツールの整備、コミュニケーションの在り方について効果的事例の分析・検討を行う。</p>	